

盲導犬刺傷事件に関する会長表明

先日、業務中の盲導犬が刺傷されるという事件が発生しました。

視覚障害のある方にとって、盲導犬は高度に訓練された生活に不可欠なパートナーです。責任感の強い盲導犬は業務についているときは声をあげません。その最中に盲導犬を傷つける行為は大変卑劣であり、本会としては許されない行為であると強く非難いたします。

広く県民の皆さんには、二度とこのような行為が行われないよう盲導犬を見守る意識を私たちと共に持っていただきたいと思い、意見を表明いたします。

2014（平成 26）年 9 月 11 日

公益社団法人 広島県社会福祉士会
会長 中島 康晴